

BB31 011

授業科目	政治学 (Political Science)		
担当教員	辻 中 豊、久保慶明	研究室	共同研究棟A306(辻中) 同A305-2(久保)
単位数	2単位	オフィスアワー	月曜・金曜各17:00-19:00(辻中) 月曜16:45-18:00(久保)
学期曜時限	1・2学期 月曜3時限	授業対象学生	1・2年次
<p><b>【授業の目標と概要・学生への要望】</b>          政治学の入門的講義。          政治的なものの概念，政治の分析方法などを紹介し，政治学の発展的な学習のための手掛かりを提供する。</p>			
<p><b>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</b>  <b>【1学期】</b>          (1)政治とは，政治学とは (2)政治の仕組み (3)有権者とマス・メディア          (4)政治家と政党 (5)官僚制 (6)社会集団，利益団体          (7)政策過程とリーダーシップ  <b>【2学期】</b>          (8)政治の多層性 (9)地方自治 (10)国際政治          (11)事例としての日本1 (12)事例としての日本2 (13)事例としての日本3          (14)政治体制 (15)政治制度 (16)政治文化          (17)権力と政策</p>			
<p><b>【授業外の予習復習方法・教材等】</b>          ・以下の教材に準拠して進める。参考書は適宜紹介する。          辻中豊『政治学入門』(放送大学教育振興会，2012年予定)          伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め[第3版]』(有斐閣，2009年)          ・講義では簡単なレジュメを配布すると共に，原則としてパワーポイントを使用する。          ・新聞などから，毎週，講義内容に見合った記事の切抜きを義務付ける。</p>			
単位取得要件	試験(1学期末)，レポート(2学期末)，新聞切抜きの提出，出席点		
備考			

BB31 021

授業科目	政治思想 (Political Thought)		
担当教員	近 藤 康 史	研究室	人社B412
単位数	2単位	オフィスアワー	火曜14:00～16:00(3学期のみ14:30～)
学期曜時限	1・2学期 火曜2時限	授業対象学生	1・2年次
<p><b>【授業の目標と概要・学生への要望】</b>          現代の政治的・社会的変容を念頭に置き、身近に起こっている政治現象などを取り上げながら、政治思想・政治理論の現代的諸論点について考えていきたい。その過程で、各人が、「自由」「平等」「公共性」「民主主義」といった政治的概念について自分なりに考え、またそれを生かして、現代政治に対する自分なりの視角を獲得することを目標とする。</p>			
<p><b>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</b>  <b>【講義予定】</b>          具体的な講義内容は以下の通り。進行状況によって、若干の変更がありうる。          1. 現代政治の変容: 福祉国家の揺らぎ、国民国家の揺らぎ、脱伝統社会 (第1週～第7週)          2. 政治思想の現代的展開: リバタリアン/コミュニタリアン、ラディカル・デモクラシー (第8週～第15週)          3. 政治的概念の変容: 自由、平等、公共性、「政治的なもの」(第16週～第20週)</p>			
<p><b>【授業外の予習復習方法・教材等】</b>          教科書は特に指定しない。参考文献は講義中に提示する。前回の内容を復習した上で講義に臨むこと。</p>			
単位取得要件	1学期レポート(4割)+2学期末試験(6割)		
備考			

BB31 031

授業科目	政治外交史 (Political and Diplomatic History)		
担当教員	松岡 完	研究室	人社A403
単位数	2単位	オフィスアワー	11:30～12:00(1・2学期)
学期曜時限	1・2学期 金曜3時限	授業対象学生	1・2年次
【授業の目標と概要・学生への要望】			
【目標】現代の国際政治で生じているさまざまな事件の歴史的背景を知り、現代世界の序曲となった冷戦時代を中心に国際政治の歩みを把握すること。			
【要望】国際政治およびその歴史を楽しみながら、興味と知識を深め、各自で学び続けること。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】			
【予定】①序論 ②第一次世界大戦 ③第二次世界大戦 ④冷戦の開始 ⑤冷戦の激化と欧州の分断 ⑥中国革命 ⑦朝鮮戦争 ⑧インドシナ戦争と日本 ⑨平和共存路線の模索 ⑩西欧の防衛と統合 ⑪中東の戦火 ⑫動揺する社会主義陣営 ⑬東西対立の再燃 ⑭KK時代と多極化世界 ⑮革命とミサイル ⑯ベトナム戦争 ⑰デタント外交 ⑱激化する地域紛争 ⑲冷戦の終焉 ⑳結論			
【教科書】松岡 完『20世紀の国際政治 改訂増補版』同文館 2003年			
単位取得要件	学期末試験もしくはレポート、および平常(出席を含む)点		
備考	▼社会・国際学群 コア・カリキュラム		

BB31 131

授業科目	比較政治学 I (Comparative Politics I)		
担当教員	鈴木 創	研究室	人社B408
単位数	2単位	オフィスアワー	予約により随時
学期曜時限	1・2学期 金曜2時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】			
比較政治学の主要な理論や概念を紹介し、各国の政治がどのように位置づけられるかを考察する。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】			
以下の流れで講義を進める予定。ただし、進み具合などによって変更する可能性もある。			
1. 比較政治学とは 2. 政治体制と政治制度 3. 政治文化 4. 民主化 5. 政党と政党システム 6. コーポラティズム 7. 福祉国家			
レジュメを配布するので、事前に目を通して授業に臨むこと。			
教科書は特に指定しないが、講義の一部は次のテキストに沿って行う。			
真柄秀子・井戸正伸『改訂版比較政治学』(2004年、放送大学教育振興会)			
参考文献は授業の中で随時紹介する。			
単位取得要件	学期末試験		
備考			

BB31 161

授業科目	現代国際政治理論 (Theories of Global Politics)		
担当教員	南山 淳	研究室	人社B409
単位数	2単位	オフィスアワー	随時(Eメールで要予約)
学期曜時限	3学期 月曜4・5時限	授業対象学生	3・4年次
<b>【授業の目標と概要・学生への要望】</b> 「グローバル化」と「ポストモダン化」というふたつの概念を中心に冷戦後／9.11後の国際政治分析に不可欠な理論枠組みについて検討する。伝統的な国際政治理論の批判的検討および、冷戦後、急速に台頭する批判主義的国際政治理論の概説を通じて、現代国際政治分析に必要な理論的知見について論じる。「国際政治学」の修得者を対象とするが、同科目の未修得者は、山田・大矢根 編著『グローバル社会の国際関係論[新版]』(有斐閣)および吉川・野口 編著『国際関係理論』(勁草書房)等を熟読し、国際政治理論の概説的知識を整理した上で受講すること。			
<b>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</b> 近代主権国家の出現にともなって成立したウエストファリア・システムは、常に構造的アナーキーに象徴される国際政治の基本構造の前提となってきた。肯定的な意味であれ、否定的な意味であれ、それが国際政治の認識枠組みの構築に多大な影響を及ぼしてきたことは改めて指摘するまでもない。他方、近年、著しく進展しているグローバル化は、そのような伝統的国際政治認識に根本的な修正を迫る「国際政治のポストモダン化状況」の様相を呈している。本講義では、あらゆる領域でグローバル化しつつある現代国際政治の現実を捉えるための新たな理論枠組みについて、特にメタ理論構造の重要性と批判主義的な国際政治理論の観点から論じる。			
<b>【講義予定】</b> ① 冷戦構造の崩壊とIRのアイデンティティ・クライシスー現代国際政治理論の座標軸ー ② グローバル経済の成立とネオ・グラムシアン批判理論 ③ モダニティ批判としてのポスト構造主義IR ④ グローバル／ジェンダー・ポリティクスの展開とフェミニズムIR ⑤ ポスト実証主義論争と現代国際政治理論の構造転換 (1)ー「科学」をめぐる合理性と間主観性ー ⑥ ※視聴覚教材を通じてポスト実証主義の考え方について論じる。 ⑦ ポスト実証主義論争と現代国際政治理論の構造転換 (2)ー権力／知の政治学ー ⑧ グローバルな統治性とポスト近代の政治学 (1)ーグローバル／ネットワーク権力としての(帝国)／マルチチュードー ⑨ グローバルな統治性とポスト近代の政治学 (2)ーアイデンティティの政治と近代主権権力ー			
<b>【参考文献】</b> 南山淳『国際安全保障の系譜学』(国際書院); 佐藤幸男・前田幸男 編『世界政治を思想する』(国際書院); 土佐弘之 編『グローバル政治理論』(人文書院); T.Dunne, et.al., <i>International Relations Theories</i> , 2 nd.,ed.,Oxford U.P., 2010.			
単位取得要件	学期末試験またはレポート		
備考	E-mail: minami@social.tsukuba.ac.jp		

BB31 171

授業科目	国際関係史序説 (Introduction to the History of International Relations)		
担当教員	大友 貴史	研究室	人社B808
単位数	2単位	オフィスアワー	メールでアポを取ってください
学期曜時限	3学期 火曜4・5時限	授業対象学生	1年次
<b>【授業の目標と概要・学生への要望】</b> このクラスでは、18世紀から20世紀なかばまでの国際関係の展開を分析します。主にヨーロッパにおけるバランスオブパワー、ヨーロッパ協調、第一次世界大戦、第二次世界大戦について考察します。時代、地域によって、どのような原則・理念が国家の行動に影響を与えてきたかを学びます。			
<b>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</b> 授業計画:* 1. イントロダクション 2. アメリカ外交政策の軸 3. 普遍性から均衡へ 4. ヨーロッパ協調 5. リアルポリティークの独走 6. 第一次世界大戦前夜のヨーロッパ外交 7. 第一次世界大戦にいたる軍事的仕組み 8. ウィルソンとベルサイユ条約、ヒトラーとベルサイユ体制の崩壊 9. 第二次世界大戦 10. まとめ (*若干変更する可能性があります。)  教材: ヘンリー・A・キッシンジャー(岡崎久彦監訳)『外交(上)』日本経済新聞出版社 1996。 (オリジナルは、Henry A. Kissinger, <i>Diplomacy</i> (NY: Simon & Schuster, 1994).)			
単位取得要件	出席30%、期末試験70%をもって評価します。		
備考	▼社会・国際学群 コア・カリキュラム 原則として国際及び社会の学生のみ履修可		

BB31 181

授業科目	国際紛争論Ⅰ (Global Security and International ConflictsⅠ)		
担当教員	南山 淳	研究室	人社B409
単位数	2単位	オフィスアワー	随時(Eメールで要予約)
学期曜時限	1・2学期 月曜4時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 現代紛争および国際安全保障の構造的特質について、安全保障概念の「本質的論争性」の観点から考察する。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 冷戦後／9.11後の世界において拡大するグローバル化の影響は、世界経済のみならず国際安全保障や地域紛争の領域にも深く浸透している。そのような状況下、人間の安全保障や気候安全保障等に見られる「安全保障の再定義」の問題が緊急の課題として浮上している。本講義では、これまでの安全保障研究ならびに国際紛争研究の蓄積をふまえ、ポスト・ウエストファリア体制下における新しい安全保障の理論的展望について検討する。そのために、安全保障および国際紛争研究に関する基礎概念と方法論に加えて、安全保障を狭義の国家間関係および軍事領域に限定することなく、政治・経済・社会・文化領域においてグローバルに展開する複合現象として論じていく。本講義の受講者は、国際政治学・国際関係論に関する最低限の基礎知識を有していることを前提にしているため、関連講義の未修得者や不安のある者は、事前に、山田高敬・大矢根聡 編著『グローバル社会の国際関係論[新版]』(有斐閣)等を熟読したうえで受講すること。 【講義予定】 ①安全保障／恐怖の政治学:安全保障の基本構造 ⑦グローバル化と安全保障の拡大／深化Ⅱ:批判主義的安全保障研究 ②冷戦と安全保障Ⅰ:戦略研究と伝統的安全保障 ⑧事例研究Ⅱ ③冷戦と安全保障Ⅱ:多元主義と国際安全保障 ④事例研究Ⅰ ⑤冷戦と安全保障Ⅲ:批判的平和研究と構造的暴力／積極的平和 ⑥グローバル化と安全保障の拡大／深化Ⅰ:安全保障の「再定義」 【テキスト】J.S.ナイ,Jr.『国際紛争[原著第8版]』(有斐閣);M.カルドー『新戦争論』(岩波書店;絶版);A.Collins, <i>Contemporary Security Studies</i> , 2nd.ed., Oxford U.P., 2010.			
単位取得要件	学期末試験		
備考	E-mail: minami@social.tsukuba.ac.jp		

BB31 261

授業科目	カナダ政治 (Canadian Politics)		
担当教員	岩崎 美紀子	研究室	3K322
単位数	2単位	オフィスアワー	e-mailで予約
学期曜時限	2学期 月曜1・2時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 授業の目標と概要:カナダ政治を、①仏系と英系、②東部と西部、③連邦と州、④カナダと英国、から分析できるようにする。政府と市民の観点から、1990年代に自由党政権が行った財政再建の意味を理解する。 学生への要望:議論への参加、小テストへの積極的取り組み(授業内容の理解と復習)により基礎知識の確保を期待する。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 授業計画: ○地理(州と準州)、地域区分、建国の歴史。 ○行政改革と財政再建、自由党政権の財政再建の成功の理由、政策見直し、政府の再定義。 ○遠心力と求心力、2つの地域主義、アイデンティティ、国家統合、自治と統合。 ○西部カナダ、西部の疎外、西部開拓と秩序、西部と連邦政府。 ○ケベック、フランス系カナダからケベコワへ、文化次元と政治次元、平等か独立か、主権・連合。 ○連邦制、カナダ連邦制の特徴、憲法、総督と副総督、社会政策、財政移転。 ○ウェストミンスター型議院内閣制、政党制、1993年以降の変化。 各テーマで小テストを実施するので、復習が必須。 教材:『行政改革と財政再建 -カナダはなぜ改革に成功したのか-』(御茶の水書房)、『分権と連邦制』(ぎょうせい)、レポートのためには『「知」の方法論』(岩波書店)			
単位取得要件	出席3分の2以上。小テストの成績。内容と構成要件を満たすレポート。		
備考	国際(BC11 161)と共通。		



BB31 381

授業科目	欧米政治外交史 I (Western Political and Diplomatic History I)		
担当教員	松岡 完	研究室	人社A403
単位数	2単位	オフィスアワー	13:00～13:30(3学期・予定)
学期曜時限	3学期 金曜2・3時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 (1)現代の国際政治を理解するうえで重要な意味を持つベトナム戦争について学ぶ。(2)これを手がかりに、冷戦、地域紛争、地域統合、現代アメリカ外交、民族主義、現代戦争など、国際政治のさまざまな側面について考察を深める。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 【予定】1. ベトナム戦争の概要 2. 米ソ冷戦の戦場 3. 民族解放戦線と北ベトナムの対立 4. 中国と北ベトナムの対立 5. アメリカと南ベトナムの対立 6. 東南アジア地域統合の契機 7. アメリカの世論と政府の戦い 8. 負の記憶とアメリカ国民の格闘 【教科書】松岡完『ベトナム戦争』(中公新書 2001)			
単位取得要件	学期末試験もしくはレポート、および平常(出席)点		
備考	原則として「政治外交史」既修者を対象とする。昼休みをはさまず、3限を2限に続けて行う予定。		

BB31 401

授業科目	現代政治外交 I (Contemporary Politics and Diplomacy I)		
担当教員	竹中 佳彦	研究室	人社B410
単位数	2単位	オフィスアワー	原則として学期中の木曜3時限
学期曜時限	2・3学期 木曜4時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 【授業目標】現代日本をめぐる政治・外交を理解するための歴史と理論・分析視角の修得。 【授業概要】1940年代から70年代の日本を取り巻く外交・防衛について概説し、現在、日本が置かれている政治・外交上の諸問題について考えるための材料を提供したいと思います。 【学生への要望】予習・復習を行って下さい。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 【授業予定】受講生の理解度等によって進度と内容が変わりうることをあらかじめご了承下さい。 第1回 開講の辞(ガイダンス) 第2回～第3回 国連・憲法と安全保障 第4回～第8回 敗戦・占領・憲法制定 第9回～第11回 占領政策の転換と講和・安保 第12回～第13回 「吉田ドクトリン」 第14回～第16回 日ソ国交回復と安保改定 第17回～第18回 日韓国交正常化と非核三原則 第19回～第20回 日中国交正常化と日中平和友好条約 【使用教科書・参考文献】教科書はとくに指定しません。当日の授業出席者のみにレジュメを配付する予定です。 予習・復習のための参考文献として、 ①松岡完他編『冷戦史』同文館、2003年。 ②進藤・水戸編『戦後日本政治と平和外交』法律文化社、2007年。 その他の参考文献は適宜、指示します。			
単位取得要件	原則として試験により評価します(試験に合格しなければ、どのような事情があれ、単位は与えません)。甚だしく出席が少ない場合には出席をとり、評価に加味することがあります。また私語や遅刻、途中退室など、授業態度が悪い等の場合には、単位を与えないことを含め、評価に反映させることがあります。		
備考			

BB31 451

授業科目	アジアの国際関係 (International Relations in Asia)		
担当教員	首藤 もと子	研究室	3K418
単位数	2単位	オフィスアワー	
学期曜時限	1学期 月曜5・6時限	授業対象学生	2～4年次
<b>【授業の目標と概要・学生への要望】</b> 東アジアおよびアジア太平洋地域における地域主義の変遷と、グローバル化がもたらすアジアの国際政治経済学の課題や越境的なガバナンスの課題について、分析の枠組みを提示し、問題への理解を深めるようにします。			
<b>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</b> (1) アジアのナショナリズムと国家形成の課題 (2) アジアにおけるナショナリズムと地域主義の展開 冷戦期のアジアの地域主義、東アジアと南アジアの国際構造の相違 (3) グローバル化時代における重層的な地域主義の機能と制度 (4) ASEANとハブとするアジアの多国間制度の多様化 アジアの多国間安全保障レジームの評価 (5) 「ASEAN+3」をめぐる日本と中国の外交 (6) ASEAN安全保障共同体とミャンマー問題 (7) ASEAN経済共同体と域外諸国・地域とのFTA/EPA交渉の課題 (8) 越境的な問題への地域的ガバナンスの課題 (9) 人の国際移動に関する地域的ガバナンスの課題 (10) アジアにおける越境的な市民社会の可能性と課題 授業では毎回レジメを配布しますが、それと別に、以下の文献は教科書に準じる頻度で使用します。 山影進・広瀬崇子編『南部アジア』ミネルヴァ書房、2011年。 岩崎育夫『アジア政治とは何か』中公叢書、中央公論新社、2009年。 片山裕・大西裕編『アジアの政治経済・入門』有斐閣ブックス、2007年。 その他に、授業において、参考書や関連論文、資料等を紹介します。			
単位取得要件	2年生以降に履修すること。		
備考			

BB31 461

授業科目	アジア政治 (Politics in Asia)		
担当教員	首藤 もと子	研究室	3K418
単位数	2単位	オフィスアワー	
学期曜時限	2学期 月曜5・6時限	授業対象学生	2～4年次
<b>【授業の目標と概要・学生への要望】</b> 東南・南アジアの政党制度と選挙制度、軍の政治的機能の変遷、経済政策とガバナンスの課題について、比較考察します。			
<b>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</b> (1) アジア政治を考える視点 (2) 国家形成と軍の政治的機能——インドネシア、ミャンマー、パキスタンの事例 (3) アジア諸国の統治機構 1. 非民主的民主制度の改革の課題：フィリピンの民主制度の理念と現実 2. 議会制民主制度と覇権的与党連合体制：マレーシアの政治制度と経済開発戦略 3. グローバル化時代の国家管理体制：シンガポールのPAP 4. 多様性と民主的制度の調和の模索：インドネシア 5. 民主化と保守的権力エリート層の対峙：タイ 6. インドの政党政治の変容：民主的制度と社会構造 (4) グローバル化時代におけるアジア政治の課題 1. 民主主義とポピュリズム 2. 腐敗とガバナンスの課題  教材 (Material) 授業では毎回レジメを配布しますが、それと別に参考書については、授業で随時紹介します。以下のものは、一般的な参考書として、テーマに応じて利用します。 山影進・広瀬崇子編『南部アジア』ミネルヴァ書房、2011年。			
単位取得要件	2年生以降に履修のこと。		
備考			

BB31 491

授業科目	計量分析入門 (Introduction to Quantitative Analysis)		
担当教員	崔 宰 栄	研究室	人社A813、(内)6044
単位数	2単位	オフィスアワー	メールにて確認要 choe.jaeyoung.fu@u.tsukuba.ac.jp
学期曜時限	3学期 月曜3時限・木曜3時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 計量分析は、溢れる情報からの物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、社会科学等の多くの分野で用いる分析ツールの1つである。この授業では、そのツールを正しく使うための基礎統計や使い方の理解を目標とする。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 授業目標: 計量分析に必要な基礎統計とその分析ツールの理解 授業内容: 第1回 計量分析の概要 第2回・第3回 度数分布表・図 第4回 代表値(平均など) 第5回 散布度(偏差、標準偏差、分散など) 第6回・第7回 相関分析 第8回・第9回 回帰分析 第10回 SPSSの使い方 授業では、統計の基本概念などの理解と、分析ツール(主にエクセルを使用、SPSS)を用いた演習を行なう。 使用教科書: オリジナルテキスト。			
単位取得要件	出席、試験(もしくはレポート)により総合評価する。 但し、出席回数3分の2以下の場合、単位取得資格外となる。		
備考			

BB31 501

授業科目	国境を超える政治 (Transnational Politics)		
担当教員	明 石 純 一	研究室	人社A319
単位数	2単位	オフィスアワー	随時(Eメールで要予約)
学期曜時限	1・2学期 火曜3時限	授業対象学生	2～4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 政治や社会の「トランスナショナル」化とはなにか。こうした現象に対して、いかなる国際公共政策やガバナンスが必要なのか。本授業では、政治学や国際関係論の理論的基礎を踏まえつつ、現代の移民や難民(国際人口移動)、国籍や市民権、エスニシティやディアスポラといった諸問題の考察を通じて、今日の国際社会の理解を深める。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 (1) 国家と国際社会の見方～グローバル化、ガバナンス、国際公共政策 (2) 国際移民の概況と諸課題 (3) 国際人口移動の理論 (4) 国際人口移動をめぐる政治と政策 (5) ナショナリズムとトランスナショナリズム ※テキストは使用せず、毎回レジメを配布します。  <参考書> 明石純一『入国管理政策:「1990年体制」の成立と展開』ナカニシヤ出版、2010年 明石純一編『移住労働と世界的経済危機』明石書店、2011年 五十嵐泰正編『労働再審2 越境する労働と<移住>』大月書店、2010年 日本比較政治学会編『国際移動の比較政治学』ミネルヴァ書房、2009年 S.カースルズ & M.J.ミラー『国際移民の時代<第4版>』名古屋大学出版会、2011年			
単位取得要件	出席、試験、レポートにより総合評価する。		
備考	akashi.junichi.fu@u.tsukuba.ac.jp		



## BB31 102

授業科目	政治学外書講読 I (英語) (Political Science Reading in Foreign Language Texts I (English))		
担当教員	久保 慶明	研究室	共同研究棟A305-2
単位数	1単位	オフィスアワー	月曜16:45-18:00
学期曜時限	1学期 月曜5時限	授業対象学生	2・3年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 政治学に関する英語文献を講読し、専門的な英語文献を自力で読みこなす能力を養う。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 テキストを指定し、受講者による和訳、要約、内容に関する討論を中心とした授業を行う。 受講者は各自十分な予習をして授業に臨むこと。 テキストや授業の進め方の詳細については、開講時に指示する。			
単位取得要件	授業中の報告、レポートあるいは学期末試験等で総合的に評価する。		
備考	1年生の受講は認めない。社会学類で政治学主専攻(予定も含む)の学生の受講を優先する。		

## BB31 112

授業科目	政治学外書講読 II (英語) (Political Science Reading in Foreign Language Texts II (English))		
担当教員	崔 宰 栄	研究室	人社A813、(内)6044
単位数	1単位	オフィスアワー	メールにて確認要 choe.jaeyoung.fu@u.tsukuba.ac.jp
学期曜時限	2学期 木曜3時限	授業対象学生	2・3年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 政治学に関する英語文献を講読し、専門的な英語文献を自力で読みこなす能力を養う。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 テキストを指定し、受講者による和訳の添削をし、外書のたどしい読み方を中心とした授業を行う。 受講者は、添削された内容をしっかり見直し、授業に臨むこと。 テキストや授業の進め方の詳細については、開講時に指示する。			
単位取得要件	出席や添削内容の見直し状況などで総合的に評価する。		
備考	社会学類の学生の受講を優先する。		

## BB31 122

授業科目	政治学入門演習 (Introductory Seminar of Politics)		
担当教員	1学期:南山 淳 2学期:松岡 完 3学期:竹中 佳彦	研究室	人社B409(南山) 人社A403(松岡) 人社B410(竹中)
単位数	3単位	オフィスアワー	随時(Eメールで要予約)(南山) 金曜11:30-12:00(2学期)(松岡) 木曜3時限(竹中)
学期曜時限	1・2・3学期 水曜6時限	授業対象学生	2年次
<p>【授業の目標と概要・学生への要望】</p> <p>【授業目標】政治学における基礎的な概念・方法・知識の修得。</p> <p>【授業概要】政治学の基礎概念について、2年生を対象として、政治学研究への入門的指導を三期に分けて行う。</p> <p>【学生への要望】授業での報告・討論への積極的な参加と授業外の予習・復習を求める。</p>			
<p>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</p> <p>【授業予定】</p> <p>第1回 ガイダンス、第2～10回 各自の報告と討論 第11回 ガイダンス、第12～20回 各自の報告と討論 第21回 ガイダンス、第22～30回 各自の報告と討論</p> <p>テキスト等については学期当初に担当教員が指示する。予習・復習についても各学期の担当教員の指示に従うこと。</p>			
単位取得要件	授業への出席状況および各担当教員の総合評価。		
備考	社会学類の学生の受講を優先する。		

## BB31 132

授業科目	政治学演習 I (Seminar on Political Science I)		
担当教員	辻中 豊・久保 慶明	研究室	共同研究棟A306(辻中) 同A305-2(久保)
単位数	3単位	オフィスアワー	月曜・金曜各17:00-19:00(辻中) 月曜16:45-18:00(久保)
学期曜時限	通年 木曜6時限	授業対象学生	3・4年次
<p>【授業の目標と概要・学生への要望】</p> <p>社会科学の問題意識や基礎知識・技能の共有化を図りつつ、各自が自己の問題意識に基づき、現代政治・社会に関する創発的・原著的研究を行う。問題意識、文献の体系的レビュー、経験的な分析方法(データ収集・分析から研究計画、仮説設定・検証まで)を踏まえて、3年次にレビュー論文、4年次に卒業論文を執筆する。</p>			
<p>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</p> <p>社会科学の方法論を1学期にしっかり修得してもらいたいと思います。研究者やジャーナリスト、政治家、NGO・NPOの活動家の志望者にも向いているゼミだと思います。また大学院修士課程の留学生、同志望の研究生(留学生)など多国籍の学生を交えた国際的なゼミの運営を目指します。年度途中から海外に留学する学生も参加可能[継続履修あり]です。</p> <p>【3年生】</p> <p>4～6月:共通の問題意識・方法論研究。この間、OHを利用して問題意識を文章化し、6月にProposal発表。 夏休み:日本と世界の文献の体系的収集とレビュー。 9月1週(合宿):A4で10ページの成果報告。 2学期:共通図書研究。自己研究の発表。 11月以降:独立論文執筆。*11月:OBOG会。 3学期:卒業研究に向けた準備。</p> <p>【4年生】</p> <p>前半:将来の進路、職業選択を体系的に検討し、就職活動や受験準備を行う。 後半(7,8月以降):原著的で実証的な卒業研究を進める。 11月:中間発表。12月:完成。</p> <p>【義務】研究(自分)ノートの作成。</p>			
単位取得要件	課題の提出, 研究成果の報告, 論文の提出		
備考	全学群を対象とする。		

BB31 162

授業科目	比較政治学演習Ⅱ (Seminar on Comparative Politics II)		
担当教員	鈴木 創	研究室	人社B408
単位数	3単位	オフィスアワー	予約により随時
学期曜時限	通年 火曜4時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 日本や諸外国における選挙と政策形成に関する文献を講読し、比較の視点も交えながら各国の政治を考察する。各回の報告者はもちろん、それ以外の者も積極的に討論に参加することを期待する。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 共通の文献を読み、毎回報告者を決めて報告、質疑、討論を行う。受講者全員が文献の内容を理解するだけでなく、それに対するコメントを用意してゼミに臨むこと。 また、各自の自由な関心に基づいてテーマを設定し、文献報告・研究報告を定期的に行う。最終的にゼミ論文を執筆する(3年生はレビュー論文、4年生は研究論文)。 使用する文献は、開講時に指示する。			
単位取得要件	出席、報告、討論への参加、ゼミ論文などで総合的に評価する。		
備考			

BB31 182

授業科目	国際政治学演習Ⅱ (Seminar on International Politics II)		
担当教員	南山 淳	研究室	人社B409
単位数	3単位	オフィスアワー	随時(Eメールで要予約)
学期曜時限	通年 月曜6時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】 国際政治理論と国際紛争の具体的事例と関連づけながら現代国際紛争の諸問題について検討する。無断欠席厳禁。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】 「社会科学」としての国際政治学に必要な思考訓練を徹底して行い、現代国際政治分析に不可欠なスキルの修得を目標とする。例年、テキスト輪読、学生による研究報告と討論、他大学との合同ゼミ(学生によるディベート)等を実施しているが、具体的な内容については受講者と相談のうえで決定する。3年次は、各自研究テーマを決定し、卒業論文(またはゼミ論文)の構成目次および概要(4000字程度)の提出、卒業年次は同論文の完成稿提出を各年度の主な単位取得要件として研究指導を行う。現代国際紛争および国際政治研究に関心があり、かつ意欲のある者であれば、学類・主専攻は問わないが、合同ゼミ等、正規のゼミ時間以外の活動への参加も単位取得要件に含まれているので、この点を踏まえて履修すること。 【参考書】吉川直人・野口和彦 編『国際関係理論』(勁草書房); 土佐弘之 編『グローバル政治理論』(人文書院); M.カルドー『新戦争論』(岩波書店; 絶版); J. Baylis, S. Smith & P. Owens, eds., <i>The Globalization of World Politics</i> , 5th. ed., Oxford U.P., 2011; 高根正昭『創造の方法学』(講談社現代新書); 茂木秀昭『ザ・ディベート』(ちくま新書); 戸田山和久『論文の教室』(NHKブックス)			
単位取得要件	出席状況、ゼミにおける発言・報告内容、卒業論文またはゼミ論文(3年次は論文概要)等による		
備考	随時(Eメールで要予約)		

BB31 192

授業科目	現代政治外交演習Ⅰ (Seminar on Contemporary Politics and Diplomacy I)		
担当教員	竹中 佳彦	研究室	人社B410
単位数	3単位	オフィスアワー	原則として学期中の木曜3時限
学期曜時限	通年 木曜5時限	授業対象学生	3・4年次
<p>【授業の目標と概要・学生への要望】</p> <p>【授業目標】輪読に基づく討論を通じて、日本の政治・外交、または政治学について研究するとともに、ゼミ論文もしくは卒業論文を完成させること。</p> <p>【授業概要】現代日本の政治、あるいは外交に関する文献を輪読するとともに、ゼミ論文(註・参考文献つき、400字詰め原稿用紙換算20枚以上)を完成させることを目指します。</p> <p>【学生への要望】ゼミ論文は、400字×20枚以上、註・参考文献リストつき、ワープロソフトで40字×30行/頁とし、フロッピーディスク及びアウトプットを提出してもらいます。テーマは、日本の政治・外交・政治史・政治思想、比較政治、政治学に関するものから、各自の関心によって選択してかまいません。ただし何度でも書き直しをお願いすることがありますので、それに耐えられるだけの忍耐力が必要です。卒業論文はゼミ論文以上の内容・分量等を要求します。</p> <p>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</p> <p>【授業予定】第1回 ガイダンス、輪読する書物の決定 第2回 割り当て、報告の仕方 第3回 論文の書き方 第4回 資料収集の方法 第5回～ 輪読(報告と討論) 9月初め ゼミ論テーマ調査(6月に用紙配付) 11月末までに、ゼミ論の第1稿を提出してもらいます。 12月～1月は、ゼミ論の中間報告をしてもらうことがあります。 2月末(4年次生は1月末)までに、最終稿を提出してもらいます。</p> <p>【使用教科書】受講者と相談のうえ決定します。 論文の書き方等については、中道寿一編『政策研究』(福村出版、2011年)。</p>			
単位取得要件	ゼミ論、出席、日常の報告の内容、討論への参加度を総合的に評価します。ゼミ論を提出しない場合は、単位を与えません。無断欠席を3回した場合には履修放棄したものとみなします。報告が悪い場合には何度でも報告をしてもらいます。		
備考	エントリーシートを提出し、受講許可を得た人のみ履修できます。		

BB31 242

授業科目	東洋政治思想演習Ⅱ (East Asian Political Thought Seminar II)		
担当教員	古田 博司	研究室	3K422
単位数	3単位	オフィスアワー	火曜、金曜午後で研究室にいるとき
学期曜時限	通年 火曜5時限	授業対象学生	3・4年次
<p>【授業の目標と概要・学生への要望】</p> <p>目標：時代のストーリーテラーとなること。 学生への要望：無難を欲する人向きではないので注意するように。</p> <p>【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】</p> <p>先学期に続き、大川周明の政治思想を考究する。先学期は『日本二千六百年史』を輪読したが、今学期は『日本精神史』を輪読することになるだろう。文体は旧字体で漢文調であるから受講する者は心して来るように。 周知のように、大川周明は満洲事変の立役者であり、戦犯として東京裁判にかけられたが、佯狂して難を逃れた人物である。</p>			
単位取得要件	出欠点と提出物		
備考	教材はコピー配布		

## BB31 262

授業科目	欧米政治外交史演習Ⅱ (Seminar on Western Political and Diplomatic History II)		
担当教員	松岡 完	研究室	人社A403
単位数	3単位	オフィスアワー	11:30-12:00(1・2学期)、13:00-13:30(3学期)
学期曜時限	通年 金曜4時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】			
【目標】アメリカを中心に、冷戦期およびその後の政治外交史について学ぶこと。 【要望】口頭での報告と質疑・討論、レジュメの作成、ゼミ論文の執筆などをつうじて、一定の問題について疑問を抱き、それについて自分なりに調べ、その要点をまとめ、考えを発表する訓練を深め、それを今後の研鑽の基礎とすること。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】			
(1)テキストの輪読や各自の研究発表を考えているが、参加者の関心を最優先し、必ずしも狭い意味の「欧米政治外交史」にはこだわらず、広く国際関係史全般を学ぶ機会とする。 (2)年間予定や授業の進め方、テキストの選定など、詳細は4月の顔合わせの際に協議する。 (3)したがって第1回授業には遅刻・欠席しないこと。やむを得ない場合は事前に連絡すること。無断欠席・遅刻者には受講を許可しない場合もありうる。			
単位取得要件	ゼミ論文、および平常(出席を含む)点		
備考			

## BB31 282

授業科目	現代政治分析演習Ⅱ (Seminar in Contemporary Political Analysis II)		
担当教員	近藤 康史	研究室	人社B412
単位数	3単位	オフィスアワー	火曜14:00~16:00(3学期のみ14:30~)
学期曜時限	通年 火曜6時限	授業対象学生	3・4年次
【授業の目標と概要・学生への要望】			
①文献報告あるいは研究報告を通じ、現代政治上の様々な論点について分析・議論し、幅広い政治学的知識や思考、視角を獲得する。その上で、自分の関心あるテーマに対し、複眼的・多角的にアプローチできる力の修得を目指す。 ②各自が選んだテーマに関し、自分なりの視角から研究する。4年生はゼミ論あるいは卒論を執筆する。			
【授業の進行予定・授業外の予習復習方法・教材等】			
【年間予定】			
<1学期:現代政治を考える>現代政治上の諸テーマに関する文献を読み、議論する。文献は参加者の関心を聞いた上で選択するが、現代政治上のアクチュアルな論点を対象としつつ、理論や方法、比較など、幅広い観点から議論できるものを取り上げる。3年生は、これらの過程を経て政治学のための基本的な能力を養うとともに、今後の研究に向けて関心を絞っていく。			
<2学期:研究テーマについての発表>3年生は、自らの関心にしたがって選択した文献の報告を行い、関心や今後の方向性の明確化を図る。4年生はゼミ論・卒論へと向けた研究発表をする。両学年とも、これらを通じて「プレゼンテーション力」を磨くことも目標となる。			
<3学期:「論文」を読む・書く> 12月・1月は、各種の政治学の「論文」を輪読することで、「政治学の論文の書き方」を学び、議論する。2月は、4年生が提出した卒論・ゼミ論の発表を行う。			
【予習復習・その他】			
・参加者には、①テキストを読んでくることが求められるとともに、②自らの状況に応じて各自の関心に沿った政治学文献を読むこと、③新聞等を通じて現在の政治状況に関心を払うことが要求される。 ・他のゼミとのかけもちも歓迎する(その場合、ゼミ論等については配慮する)。 ・他大学との交流として、一橋大学との合同ゼミを行っている。			
単位取得要件	出席、報告、議論、提出物など、ゼミでのパフォーマンスで総合的に判断		
備考			